

(様式2)

2020年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

I	スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II	マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III	スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV	日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V	スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 静岡 】

学校名【 静岡県立清水東高等学校 】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・V (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	部活動部長 生徒会本部役員 希望者 87名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 () ③ その他 (リーダー研修会) (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	オリンピックに出場し、金メダルという素晴らしい成績を挙げた選手の、その努力や、その後の苦悩から立ち直った生き方を自分のこれからの人生に活かす。
5 取組内容	県教育委員会の支援により、地元静岡出身で、バルセロナオリンピックで金メダルを獲得した 岩崎恭子さんを紹介していただき、講演会を行うことができました。 コロナ禍の状況で、講演会はリモートで行うことが決まり、期日、人数の制限、会場の選定を、学校と岩崎さんサイドで何回か打ち合わせを持ちました。 聴講者については、学校生活の中で、リーダーとして活躍している生徒会本部役員、各部活動の部長を集め、リーダー研修会として講演会を開くことの周知を行いました。 合わせて、岩崎さんのプロフィール等を紹介し、リアルタイムでは、知らない生徒たちに君達と同年代で2度のオリンピックに出場していることを伝えました。 12月19日(土)にリハーサルを行い動作環境の確認を行い、



12月21日(月)13時より講演会を行いました。司会は担当教員が行い、約50分間の講演・10分質疑応答、最後はスクリーン越しに記念撮影を行いました。



「泳縁」という演題で話をさせていただきました。

6 主な成果

新聞部により、今回の講演会を記事に取り上げ、学校新聞という形で、全校生徒に講演会を共有することができた。新聞の記事の部分を掲載する。

幸せを感じるのは何歳だっていいじゃない

～2度のオリンピック出場経験を経て～

12月21日、本校にてオリンピックである岩崎麻子さんによる講演会がリモートで行われた。「泳縁」をテーマに、2度のオリンピック経験と交えながらメッセージを送った。

14歳という若さでオリ
ンピック出場を果たした
岩崎さん。試合前、自分
に自信をうけるためにハー
ドな練習で自分を追い込
み、初めて泣きながら種
目終了。予選、準決勝のレ
ーンは当時20歳、平泳き世界
記録保持者のアンタ・ノー
ル選手。だが、アンタ・
ノール選手についていく
ことが出来ず、予選のルー
ンを確保して泳いだ結果、
自己ベストを4秒弱め予
選を2位で通過した。日
本記録を更新し、「もう
沼津へ帰れる」と満足し
ていたが、鈴木雄二ヘッ
ドコーチの一言でその世
間は変わった。「もう一
回あるからもう一クールダ
ウん中のその一言で3種
目をリセットして決勝に
臨んで、1位でゴールし
た瞬間から岩崎さんの人

生は変わった。試合後す
ぐに行われたインタビュー
では「今までの生きてきた
中で一番幸せですか？」と
いう話を焼いた。しかし、
素直な気持ちから出たこ
の言葉により一言に注目
を浴び、普通の生活を送
れなくなってしまう。詳
談中継や放送、家族の情報
の拡散。岩崎さんは水泳
に目標を持つてなくなり、
後悔から涙が溢れるよ
うになって

の言葉にショックを受け
たという。「なぜ14歳だ
からって一番幸せって言っ
てはいけないの？」とこ
んな大人にはならない
と感じたそう。人間は故
事を重ねれば重なるほど思
い出が美化され、当時做
らなかつたことも大したこ
とになったと思えるよ
うになる。岩崎さんは自
身の経験や心理学を学ん
だことを通して、「たく



自身の過去と共に話をして下さった

プロフィール 1978年生まれ、7歳から水泳を始め、2度のオリンピック出場を果たす。

さん悩み、苦しんでいる
中でもかきながら進んで
いる最中の当事者だった
からこそ、当事者でない
大人の一語が忘れられな
かった」と話した。こ
のような経験から講演会
中、「幸せを感じるのには
何歳だっていいじゃない
という言葉を、私達に傳
り届けたい。」

講演会終了後、新副都
からの2つの質問に答え
てくれた。

01 現在コメントター
やインスタクターなど
様々なお仕事をされてい
るが、どのお仕事におい
ても共通して意識してい
ることとは？

まずは笑顔でいること。日
分自身が笑顔でいれば周
りもそうやっていく。あ
とは日常的に挨拶をする
ことです。

02 コロナの影響を受け
て最も辛かったことは？

収入は落ちる人、講演活
動や水泳のイベントがな
らなくなったこと。こうして
オンラインという形で講
演できる良かったです。

2年 高田麻尋

「泳縁」という演題で話を
させていただきました。



編集発行人
清水東 高松新聞部
〒424-8500
静岡県清水区
秋吉町2-10
TEL 054-566-7080

今号のトピック
☆1面
岩崎麻子さん講演会
☆2面
エンパワーメント
聞かせて！
清高生の声

東風 コロナウイルスが
流行が成功している国
の1つがニュージー
ランドだ。その指揮
を執っているアーダー
ン首相は40歳という若さ
にも関わらず、テロへの
毅然とした対応や任期中
で憲法を取ったことなど話
題になった。選挙の権威
で国民に接するアーダー
ン氏の支持率は歴代首相
でトップである。▼任期
中の産休は世界で最もと
アーダーン氏で2人目と
なる。その1人目がパキ
スタン第12代、第14代首
相のベナズィール・ブッ
トリー氏である。彼女はイ
スラム諸国家における初
の女性の首相だ。女性が
自由に教育を受けること
が難しいイスラム国家で
は多くの人が影響を受け
た。▼昨年の日本のジェ
ンダーギャップ指数は55
カ国中21位で、特に女性
の政治参加の遅さは他国・
管理職の少なさが浮き彫
りになっていく。いつか
日本で当たらぬ前のように
女性の首相が報道される
日が来るのだろうか。

2年 山本隆来

	<p>参加した生徒たちに感想を書かせ、講演を聞く前と聞いた後におけるオリンピック・パラリンピックに対する想いの変化を確認した。</p> <p>主な意見は、以下のとおりであった。</p> <p>中学生の時に、オリンピックで金メダルを取るという素晴らしい成績を残されたことにすごいことだと思っていましたが、金メダルをとったからこそ、その後の苦悩が起こってきたことを知り、びっくりしました。しかし、その状況を打ち破り、再度オリンピックに出たことに感動しました。入賞できなかったけれど、2回目のオリンピックに出場したことが、私の印象に強く残りました。</p> <p>「素直さ」の話が印象に残りました。自分をしっかり持って成長していくためには、素直に人の話を聞いたり、自分のよくないところは素直に認めたりして、自分以外の人のもとも考えて行動できるようにしていくことが大事であるということがわかりました。</p> <p>岩崎さんは、水泳で繋いだ縁を大事にしているからこそ、今の活動ができていますとおっしゃいました。自分たちも、水泳ではないけれど、これまでに出会った人たち、高校で出会えた仲間たちとの繋がりを大事にしたいと思いました。</p>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>静岡県出身であり、中学3年生の時にオリンピックで金メダルを獲得した。金メダルを取るまでの努力だけでなく、金メダリストになって自分を取り巻く世界が一変した状況の中、苦悩から立ち直った心の動きや、挫折からの立ち直り方などを話していただくようお願いした。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>講演をいただく際に、テーマをこちらからある程度お願いしておくことが大事であると考えます。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>水泳競技だけでなく、多くの選手が大会延期に際し、そのまま出場が認められた選手、また、予選を必要とする選手など様々である。少なからず気持ちの落ち込みや、モチベーションのダウンが予想されるが、そこから這い上がっていく選手等の姿を見てもらいたいと考える。機会があれば、講演していただければありがたい。</p>